

らいはい

声のない語らいは
静かに時を刻む
これまでじっくりあなたの身になって
考えたことは一度もなかった

自分のためでなく
未熟な私 慮ってくれた

あの時それ以上言わなかったのは
考えることを教えてくれたから
自分で考える力をつけろと
何も言わないで背中で伝えた

川に漂う小船に乗って
旅立つ姿が目映る
簡素ないつもの言葉だけで
ちょっとそこまで行くような口ぶりで

あふれる思いが
とめどなく流れてくる

あの時それ以上言わなかったのは
傷つくことを防いでくれたから
自分で立て直す力をつけろと
何も言わないで背中で伝えた